

甲佐町議会だより

第142号



清流

平成24年8月15日

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 本田 新

6月定例会



花火大会（あゆまつり）

7月22日

諸問案件・承認案件・報告案件・平成24年度一般会計補正予算②

論点Q & Aそこが知りたい.....③

一般質問6人ここが聞きたい④～⑨

傍聴席から一言（の感想）⑩

6月定例会



豊永康法氏

専決処分の報告及び承認について

- ①甲佐町税条例の一部を改正する条例
- ②甲佐町国民健康保険税

推薦について、甲佐町横田の豊永康法氏が推薦され、全会一致で適任であると可決した。

規約の一部変更

- ①熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更について
- ②熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について
- ③甲佐町消防団員の団員数の増加により、定員500人を507人に改める条例を可決した。



- ・甲佐町消防団員の団員数の増加により、定員500人を507人に改める条例を可決した。
- ・上益城・宇城連携プロジェクト事業負担金
31万2000円
- ・消防費の照明機器借上げ料
20万円
- ・部落公民館改修費
補助金 126万円

人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員候補者の推薦について、甲佐町横田の豊永康法氏が推薦され、全会一致で適任であると可決した。

報告案件

甲佐町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告、及び甲佐町土地開発公社の経営状況が報告された。

住民基本台帳法の一部を改正する法律に基づき住民票が作成されるものについて、外国人住民が住民票に記載されている氏名の印鑑を登録することができる条例を可決した。

甲佐町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について

甲佐町特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

「部落嘱託員」を「行政区嘱託員」に改める条例を可決した。

- | | |
|----------------|-----------|
| ・児童手当システム導入委託料 | 297万2000円 |
| ・農機具導入事業補助金 | 220万円 |
| ・青年就農給付金 | 600万円 |

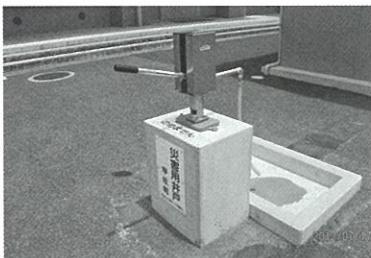
6月定例会は、8日に開会し、11日までの実質4日間の審議を行った。案件は、諮問案件1件、承認案件2件、報告案件2件、同文議決案件2件、条例の一部改正案件3件、平成24年度甲佐町一般会計補正予算について案件が上程され、全て原案どおり可決した。

一般会計補正予算

1913万8000円を増額し、歳入歳出予算の総額を64億2368万3000円とする補正予算を全会一致で可決した。 庁舎の冷温水ポンプ修繕費 125万円

そこが
知りたい

Q & A



甲佐小学校の災害用井戸

部再編については、部の団員数が一桁のところもあり、統廃合については行政主導でなく地域の区長さんたちと協議の上考えて行きたい。

平成16年が570名、17年が540名、18年が500名、19年が504名、20年が507名となつてい

A 平成23年度仮設道
路工事、24年度本橋
工事着手し26年度完成予
定である。

Q くまもとサプライズ事業について
いうことか。

A 以前、土地開発公
社の意義について検
討したことがあるが、今
後いろいろなことを想定
した場合を考えて存続の
方向で統一している。

災害用井戸さく井の目的及び今年度の事業について

Q 消防団員の数の変更があつてゐるが近年の変化は、および消防団の再編はどうなつてい
るか。

消防団員の変更について

町道上揚井戸江線の 橋梁工事について

A 町史編さんは8分
野に分かれて編さん
しているが、その内2分
野で遅れている状況にあ
り、平成25年2月の完成
を予定している。

A 東日本大震災時では飲料水についてはどうにか確保できたが、生活用水が不足したのをふまえて災害用の井戸をさく井することにした。今年度(明許繰越費)は龍野小学校および乙女小学校の2箇所を予定している。3分の1の補助事業である。甲佐小学校は整備済みであり白旗小学校は次年度以降になる。



仮説道路

九州電力に橋梁工事事業費の一部負担をお願いした経緯があるが結果はどうなっているか。

事業費は各町10万円づつの50万円と県が50万円負担した。事務局は、上益城地域振興局内の上益城観光推進協議会である。今年は何をするかは未定であるが実施される。

土地開発公社について

Q 土地開発公社は、町の計画に基づいて、公共用地の先行取得しか出来ないこととなつてゐる。しかし近年その存在価値がもうないんじゃなかと思うが、存続の検討は。

A 以前、土地開発公
社の意義について検
討したことがあるが、今
後いろいろなことを想定
した場合を考えて存続の
方向で続いている。

一般質問 と答弁



ここが
聞
きたい

山内
勲
議員



清水くらし安全推進室長

信号機未設置に関する
地区からの要望等を踏まえ、平成20年に御船警察署に設置要望し、毎年継続的に要望している。

横断歩行者優先の押しボタン式信号機の設置には、交差点を横断する歩行者の数、あるいは通学路になつていているかどうかがポイントになり、同交差点は通学路から外れて

信号機設置について

山内議員

これまでたびたび一般質問で取り上げている吉田芝原交差点は、朝の出勤時間帯には交通量が非常に多い為、県道に出るのに苦労し、非常に危険である。また、本年の3月には、交通死亡事故も発生している。このような状況の中で、押しボタン式の信号機でも結構な設置は非常に厳しいと御船署からの回答をいただいていた。

山内
議員

信号機の設置の時期は



吉田芝原交差点

通学路の安全対策

山内
議員

山内
議員

平成15年から設置を始め約9年間で248メートルの施工なので、年間約28メートル程度の実績である。このままの状態でいつたら整備終了まであと何年かかるかわからぬので、あと2年で整備終了できるよう取り計らいをお願いしたい。

西坂建設課長

現在継続事業として実施している転落防護柵の設置箇所であるが、以前から吉田区の方から事業要望及び山内議員のほうからも早期実施について要望をいただいている。

西坂建設課長

平成23年度で45メートル、本年度予定として60メートル施工する計画をしている。本年度末で残り112メートルです。で、残りの部分については2年ほどで完了するよう現在計画している。

西坂建設課長

平成23年度で45メートル、本年度予定として60メートル施工する計画をしている。本年度末で残り112メートルです。で、残りの部分については2年ほどで完了するよう現在計画している。

西坂建設課長

通学路部分を含めた約800メートルほど延長があるが、通学路部分に限ると平成15年度から設置を始め昨年までで通学路部分420メートルのうち248メートルが施工済みで、残り172メートルは進捗率約60%である。



通学道路

ボタン式信号機の設置には、交差点を横断する歩行者の数、あるいは通学路になつているかどうかがポイントになり、同交差点は通学路から外れて

奥名町長

議員御指摘のとおり、先だつては死亡事故という大変痛ましい事故も発生している。予算枠の面で、非常に厳しい状況にあるが、今後事あるごとに関係機関に強く要望していきたい。

西坂建設課長

現在継続事業として実施している転落防護柵の設置箇所であるが、以前から吉田区の方から事業要望及び山内議員のほうからも早期実施について要望をいただいている。

西坂建設課長

平成23年度で45メートル、本年度予定として60メートル施工する計画をしている。本年度末で残り112メートルです。で、残りの部分については2年ほどで完了するよう現在計画している。

おろか設置できるかどうかの見通しもない状況である。ただ、設置の順番を待っているだけでは解決しないので、機会あるごとに御船警察署、関係機関に町長の方からも要望活動を強く行っていたい。

西坂建設課長

現在継続事業として実施している転落防護柵の設置箇所であるが、以前から吉田区の方から事業要望及び山内議員のほうからも早期実施について要望をいただいている。

西坂建設課長

平成23年度で45メートル、本年度予定として60メートル施工する計画をしている。本年度末で残り112メートルです。で、残りの部分については2年ほどで完了するよう現在計画している。

本郷昭宣議員

教育について

本郷議員

3倍近く増加したとのことであるが、地元高校の育成も考えなければならぬし、一方、向学心に燃えている生徒のことを考えると痛し痒しである。このことを、どう捉えているのか。また学力向上策を聞きたい。

本郷議員

英語の授業は小中学校で行われている。外国語指導助手制度を活用し英語を指導しているが時間数も制約されて、十分とはいえない。

そこで、甲佐町の人は「英会話ができる人が多い」という街づくりのため、町が独自で英会話指導者の雇用はできないものか。

町独自で英語指導者の雇用を、ということであるが大きな目で見ると将来の町の国際化、あるいは甲佐町出身者の子どもたちが英語が話せる、そういう夢のあるまちづくりを想像すると町の活気も出てくると思う。

今後、教育部局とも協議してみたい。



環境美化について

本郷議員

「地域でできることは地域で」の共助の精神は大きいものがある。協働のまちづくり推進計画また第6次総合計画においても「みんなで協働して支えるまち」づくりを推進している。各行政区の区長さんたちのご理解、ご協力をいただきながら推進したい。

甲佐町は、今まで熊本市内の高校は通学区外だったが、改正により通学区内となつた。

そのことにより、市内の高校に進学を目指す生徒にとって門戸が広がつたと思うが、改正前と後ではどのような変化があつたか。

改正により、進学希望者が熊本市外の高校から、希望する市内の高校に進学できるようになつたことは喜ばしいことであるが、地元高校の発展をどうしたらしいかという課題もある。

学力向上の取り組みについては、授業の基本はどの生徒にも確かな学力ということを一番の目標にしている。

生徒の学力は個人差があり、その差に応じた指導を二人の先生で見ていく、また、習熟度、理解度に応じたクラス分け、補習等を実施している。

各行政区で美化運動を行っているところもある。

一圓環境衛生課長

行政区によつては、老人会、婦人会、PTAなど区民参加で美化作業を行われているところもある。



美化作業

赤星教育長

進学先については、生徒は校風あるいは伝統、部活動、大学進学先など考慮して保護者と相談し、先生の指導を受けて決めている。しかし、改正前は通学区外からの7%枠があり、思い通りに行かなかつた。

進学者数の改正前は10名、改正後は27名と3倍近く伸びている。

保護者の教育に対する関心を高める、さらに小中

の道路、水路の清掃、草刈、生垣の剪定、花植え等々の美化運動を推進したらどうか。

美しい町のイメージが出てくる。そこで行政区内の

てくる。

各行政区で美化運動を行っているところもある。

自主防災組織について

本郷議員

東日本大震災が昨年発

補助事業の対象となる資機材(例)

基本資機材	ヘルメット、懐中電灯、電池、ラジオ、シャベル、団体旗、腕章、反射ベスト、蓄音機、メガホン、トランジスタラジオ、誘導旗、非常用トイレ、非常用食料、長期保存飲料水
訓練用資機材	ビデオ教材等の視聴覚教材、人命救助訓練用人形、訓練用消火器
救助用資機材	チェーンソー、ジャッキ、組架、救命ロープ、背負い式搬送ベルト、携帯用無線通信機、投光器、梯子、油圧式救助器具
救急用資機材	救急医療セット、リヤカー、毛布、簡易ベッド、簡易トイレ、防水シート、楊水機、炊飯装置、組み立て式シャワー
初期消火資機材	大型消火器、可搬式散水装置、組立型水槽、ホース

補助対象品目

一貫教育への取り組み等も向上策である。

だんだん認識され、関心も高まっているが、熊本県では5月末での自主防災組織率速報値で57.5%にとどまっている。

本町での組織率はどのようになっているか。また、設立助成金が県、町よりあるが対象品目はどんなものか。

生し、自主防災についてだんだん認識され、関心も高まっているが、熊本

県では5月末での自主防災組織率速報値で57.5%にとどまっている。

また、設立助成金が県、町よりあるが対象品目はどんなものか。

生し、自主防災についてだんだん認識され、関心も高まっているが、熊本

県では5月末での自主防災組織率速報値で57.5%にとどまっている。

本町での組織率はどのようになっているか。また、設立助成金が県、町よりあるが対象品目はどんなものか。

本町での組織率はどのようになっているか。また、設立助成金が県、町よりあるが対象品目はどんなものか。

生し、自主防災についてだんだん認識され、関心も高まっているが、熊本

県では5月末での自主防災組織率速報値で57.5%にとどまっている。

本町での組織率はどのようになっているか。また、設立助成金が県、町よりあるが対象品目はどんなものか。

生し、自主防災についてだんだん認識され、関心も高まっているが、熊本

荒田 博議員



奥名町長

広域の取り組みについて
では、御船町と協議を重ねる中で、益城・御船・西原環境衛生組合、そちらのほうと広域的な協議の場を設けて勉強会をしようと話が今持ち上がりっている。その中に当然火葬場、し尿処理場も含め総合的な方向性を探りたいと考えている。

クリーンセンターについて
ごみ処理場、火葬場について現状の進歩状況をお聞きしたい。

一圓環境衛生課長

現在組合においては、平成23年度に実施したごみ処理場の設備診断に基づきごみ処理施設整備計画を作成している。補修の範囲、延命期間、工事に要する事業費の算定をしている。策定期限は9月末を予定しており、その後両町及び組合において、最終的な整備計画を検討することになっている。

本田産業振興課長

未整備部分については、長年地権者等の用地買収の同意が得られず現在のままに至つており、それが4メートル程度である。



広域農道

道路問題について

荒田議員

幅員が狭い状況にあるが、今のところ未供用箇所になつていて、これが終了すると供用開始がされるので、その点においては、事業主体は県であるので、県のほうと協議し十分に安全対策を施していただきようお願ひしたい。

完成予定は24年度中に舗装をし竣工する予定になつてている。また、計画の要因は、

奥名町長

未整備区間については、

西坂建設課長

平成17年から事業を始めており、平成21年度までに中早川橋までの延長980メートルを改良舗装している。中早川橋から広域農道までの区間約600メートルは平成21年度に策定した道路整備計画5カ年計画のBランクに位置づけしているが、

平成20年度に地域の予備

説明会の時点での事業への理解が難しく測量同意も得られない方々がおられ、現在一時休止になつてている。事業の取り組む内容が、国道443号がもし通行止め等あつたときに、甲佐町の市街地の方からもう1本広域農道まで通すということで計画にいたつた。

一圓環境衛生課長

県のホームページにおいて、メガソーラーの候補地調査情報が公開されているが、これは、県のほうから企業が希望する条件が適合するかという

ことで調査が市町村にきて、いろいろ踏まえて調査されている。本町においては、

荒田議員

太陽光発電メガソーラーに対し、県から各市町村に設置候補地の調査依頼もされていることに

ついてお尋ねしたい。

奥名町長

計画のあつた竜野地区



町道大町塔ノ木線

荒田議員

本年7月より再生エネルギー固定価格買取制度が始まる予定で県内だけでなく全国的に企業が展開している。県内においては、長洲や南関町また宇土市で予定されている。候補地がなければ、前回質問した旧ゴルフ場計画跡地に設置を検討したらどうか。

平成23年に2回と本年4月に1回あつて、候補地として該当ないと報告している。

西 坂 和 洋 議 員



西坂和洋議員

次に、利用者数、バス料金の変動について聞きたい。

村上企画財政課長

運行当初は、9374人、平成元年度に3万6280人、平成23年度は7946人となっている。

町営バスについて

西坂和洋議員

まず、運行開始年から聞きたい。

村上企画財政課長

民間バス会社の路線廃止に伴い、宮内地区の交通確保のため、昭和47年12月9日運行が開始され、当初は、打出まで、昭和56年に六谷まで、また、平成9年に甲佐岳入り口まで延長している。昭和58年には、龍野地区宮尾入り口への運行を開始している。

村上企画財政課長

電源開発の補助金を活用していた。今後も利用していただきたい。

奥名町長

西坂和洋議員
町営バス購入について、補助金の利用はどうなっているか。

西坂和洋議員
採用については、私のほうからお答えしたい。

奥名町長

西坂和洋議員
個々の試験の結果もあると思うが、出来ることなら町内の人にも頑張つてもらつて入つてもらいたい。町長の所見を聞きたい。

西坂和洋議員
年金及び税金について

奥名町長
全職員町内在住というのが一番望ましいが、結婚して他町へ転出する人もいる。

豊田住民生活課長

西坂和洋議員
20歳から60歳未満の方は国民年金に加入することが義務付けられている。老齢基礎年金、障害基

西坂和洋議員
国民健康保険税については前年度より徴収率が上がっている。現在、併任徴収、隣交訪問を行つており、徴収率向上に向けて鋭意努力し一生懸命頑張っていただきたい。

職員採用について

西坂和洋議員

一般公務員の採用について、正規職員及び臨時職員数、採用方法を聞きたい。

井上総務課長

西坂和洋議員
任期付職員を含めて一般職が115名、臨時職員が5名である。

奥名町長

西坂和洋議員
採用については、私のほうからお答えしたい。

奥名町長

西坂和洋議員
年金及び税金について

奥名町長

西坂和洋議員
20歳から60歳未満の方は国民年金に加入することが義務付けられている。

西坂和洋議員
国民健康保険税については前年度より徴収率が上がっている。現在、併任徴収、隣交訪問を行つており、徴収率向上に向けて鋭意努力し一生懸命頑張っていただきたい。



町営バス（電源開発補助金）

ら一次試験の合格者を決定している。二次試験は集団討論、面接試験を実施し最終合格者を決定している。

職員採用に当たっては、甲佐町出身者に限定する居住地要件に限定することは、地方公務員の規定から適当ではない。

来年度以降について、採用試験の方法で、社会人枠を設けることを検討している。

障害基礎年金は、国民年金加入中や20歳前に初診日がある病気やけがによる障害等級1級、2級に該当する必要がある。

遺族基礎年金は、国民年金加入中の方、老齢基礎年金受給資格期間25年を満たした方で、一家の主たる働き手がなくなつた場合、子のある妻、又は子に支給される。

西坂和洋議員
採用試験の中で、町内外採用者数はどうなつているか。また、通勤もしているか。

西坂和洋議員
採用試験の方法で、社会人枠を設けることを検討している。

障害基礎年金は、国民年金加入中や20歳前に初診日がある病気やけがによる障害等級1級、2級に該当する必要がある。

遺族基礎年金は、国民年金加入中の方、老齢基礎年金受給資格期間25年を満たした方で、一家の主たる働き手がなくなつた場合、子のある妻、又は子に支給される。

職員採用状況

年度	H20	H21	H22	H23	H24	計
町内	1	1	4	3	3	12
町外	2	3	4	5	4	18
合計	3	4	8	8	7	30

西坂和洋議員

西坂和洋議員
次に、国民健康保険税は滞納額が多いと交付金が減ると聞いている。住民の意識改革が必要と思うがどうか。

基礎年金、遺族基礎年金の三つの基礎年金がある。

老齢基礎年金は、25年以上の受給資格期間が必要である。

奥名町長

もいる。

奥名町長

もいる。

奥名町長

もいる。

福田謙二議員



職員の指導、教育について

福田議員

職員の資質向上に向けた取り組みとして、新規採用職員及び職員に対して、どのような研修をしているのか。

井上総務課長

新規採用職員の研修内容は、約1ヶ月間行っている。行政内容等について、町長の講話、副町長講話、教育長講話、甲佐町の概要、各課の業務内容紹介を実施した。

また、町内の主要施設・名所旧跡の視察、役場外部施設を見学（総合保健福祉センター・水道管理センター等）

定住促進事業について

福田議員

地方公務員としての基礎知識等については、熊本県研修協議会の職員研修を受講した。

規律研修、集団生活・連帯感の養成等は、宮崎県の建設技術センター宿泊研修を実施した。

職員の研修については、①各課で課の業務及び取り組み、人権学習等について研修した。

福田議員

沿いの農地が農業振興地域でなければ、開発地として勧めていく考えはないのか。

自主防災組織について

福田議員

11の行政区で自主防災組織が出来ているが、その他の行政区に対してはどのように考えているか。

福田議員

職員が業務日誌を書くという指導はしていない。と聞いているが、ぜひ、書くよう指導してほしい。はなんともいえない。

奥名町長

所有者の方々の考え方次第であるが、協議をしていないので、今の段階で極的に働きかけ、活動の充実・強化を図つて生きたい。

清水ぐらし安全室長

設立に向けた取り組みとして、訓練の実施を積極的に働きかけ、活動の充実・強化を図つて生きたい。

浅井団地及び関連事業について

福田議員

浅井団地の外部階段に全部仕切りをしてあるが、1階が火災の場合、真上の2階の人は、隣へ逃げようにも行けないが、安全を考えた設計なのか聞きたい。

西坂建設課長

長屋タイプと共同住宅タイプの2種類あるが、浅井団地の場合は、品質性能を確保して工事費をより抑えることが出来る長屋タイプの提案を設計事務所から受け、内部で検討・協議を行い決定した。変更設計については、入居者の方と相談し検討したい。

西坂建設課長

通学路部分と工事箇所部分を分離する方法で安全部策を考えている。



浅井団地

福田議員

町道作替内田線の道路改良工事及び下横田団地解体工事の期間中、緑川団地の児童生徒の通学路に対して、安全対策はどうなっているか。



浅井団地

井 芹 しま子 議 員



内山福祉課長

毎年、災害時の要援護者の実態調査を行つており、この実態調査によつて高齢者一人ぐらし、また高齢者世帯の状況を把握している。

高齢者の安心安全の町づくりは

井芹しま子議員

甲佐町の人口構成は平成22年度で65歳以上が32・3%、県平均の25・7%を大きく上回つている。

内山福祉課長

皆さんの見守り活動を通じての高齢者を巡る問題点や課題を集約し、行政の施策づくりに反映させるために、こうした組織や地域などのネットワークリづくりができるのか。

全国的にも超高齢化社会を迎えるとしている

が、要介護者や認知症は1・5倍、独居者も急増すると言われている。高齢者の皆さん安心安全の町づくりのために、高齢者のくらしの実態やニーズをもつとつかむ必要があるのでは。

タクシー等の補助制度は

井芹しま子議員

高齢者の生活にとって交通手段の確保は不可欠の問題であり、移動を保障する公共交通網の整備度はできないか。

内山福祉課長

障害者の方々に対しても町営バスの割引制度はあるが、高齢者に対する安全性、必要性、相当性、公共交通機関の利用状況のアンケートを実施しており、その結果によって検討の有無を判断したい。

各団体・地域での高齢

者の見守り活動が行われており、ネットワークづくりをさらに推進し、いろいろな問題・課題解決に

緊急通報システム設置無料化を

井芹しま子議員

高齢者世帯にとって日常生活での万が一のがれや急病など大変不安を持つおられる。緊急通報システムの設置代が

ネックになつて利用が少ない」と聞いている。

県内では無料にしてい る市町村も多い。わが町でも無料化して利用を増やすべきではないか。

奥名町長

アンケートを実施しており、その結果を踏まえて検討したい。

フッ素洗口の安全性は

井芹しま子議員

日本弁護士連合会は虫歯予防の為の集団フッ素洗口について、安全性、有効性、必要性、相当性、安全管理、追跡調査、環境汚染に関する様々な問題点が認められるとして、

集団洗口の中止を求めているが、町はどう考えて

いるのか。

学校図書の拡充は

井芹しま子議員

国においては学校図書拡充に向け、平成24年度から5年計画をたて、予算措置をしている。その中では図書室への新聞配備、図書司書配置などの予算措置をしている。

図書活動充実のためにも検討すべきではないか。

松ヶ崎妙見谷線の町道新設については経済効果など疑問視する向きもある。この総事業費は4億8千万円である。一方、雨の日等は特に危険極まりない吉田の通学路のガードレールは予算が少ないとということまだ完成していない。通学路の安全対策は急ぐべきだ。

上田社会教育課長

学習指導要領では新聞を教材として位置付けており検討をしていきたい。

図書司書についても2校に一人の予算措置があり、

配置が可能か検討していきたい。

奥名町長

日弁連の意見書に対す る見解を述べている学会も6機関ある。町としては教育委員会の研究結果を尊重し、虫歯を予防しようという趣旨を支持する。



乙女小学校図書室

通学路の安全対策は

井芹しま子議員

また、道路整備の評価委員会を町民参加型にすべきでは。

配置が可能か検討していきたい。

傍聴席ガ一言

ここ最近思うこと

早川 早 崎 武

「甲佐町に住んでよかったです。そして少しでも良くなつた甲佐町を次の世代に引き継ぎたい。が、ここ最近思つてゐるところです。

皆さんもご存知のとおり本町を取り巻く情勢は少子高齢化、高度情報化、環境問題など様々な課題が生じています。また、国の政策も地方自治への権限委譲など全国横並びから地方の特性を活かした町づくりへと方針転換しているところです。是非、この機会に甲佐町がこれまでに蓄積してきたことを活かした個性ある町づくり「住んで良かつた甲佐町」「住んでみた甲佐町」を更に推進していただきたいと思います。

そこには幅広い住民意見のくみ上げが何よりも大切だと思います。昨今は意見の多様化や高度化が進み奥名町長をはじめ議員の皆さまには大変ご苦労をお掛けしますが地域住民のため、次世代の子どもたちのため、より一層の町づくりを期待しています。

それには私たち住民も、ともに町づくりの当事者として出来る範囲で地域の課題解決や特性を活かした町の魅力づくりなど知恵や汗を出し、それぞれの役割に応じた義務と責任を果たして、行政との連携を深め反映させていくことがとても大切だと思います。

熊本県側
熊本市、嘉島町、御船町、益城町、甲佐町、山都町
宮崎県側
延岡市、日之影町、日向市、門川町、五ヶ瀬町、高千穂町

九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会 総会・決起大会

平成24年7月17日（火） 御船町カルチャーセンター（ホール）



編集後記

議会広報編集特別委員会
委員長 本郷昭宣
副委員長 井芹しま子
委員 荒田謙二
委員 福田和洋
委員 西坂和洋
委員 萩川憲治
委員 岩田重成
委員 黒木円治
委員 津出悦男

「思つてもいなかつた。」
「何十年生きてきて、初めてのこと。」というような計画になつていなかつた。今一度検証することも議会の務めではないかと思う。
また、農家のことを思うと、時々、適量の雨がほしいと思ふ梅雨明けの空を眺めている。

先日の阿蘇を中心とする九州北部豪雨災害には、大変驚かされました。
身近に起ころる災害の悲惨さと、復旧の困難さは、いかばかりかと思い、心よりお見舞い申し上げます。
わが町も、今回は避けられましたが、いつ豪雨災害となるかもしれない。
町のほうでも防災計画を立て、安心安全なまちづくりに苦心されているが、それでも、実際に被害を受けた時に、どうなるのか心配する。

「思つてもいなかつた。」
「何十年生きてきて、初めてのこと。」というような計画になつていなかつた。今一度検証することも議会の務めではないかと思う。
また、農家のことを思うと、時々、適量の雨がほしいと思ふ梅雨明けの空を眺めている。